大阪歴史学会現地見学検討会

現地見学　９：30　京阪本線石清水八幡宮駅　集合
三川合流地点→淀城跡→淀水垂大下津町遺跡→御旅所（12：30 頃解散）

検討会　13:30 ～ 16:30（開場は 13 時）
淀会館　２階ホール

・「淀周辺の発掘調査成果―淀水垂大下津町遺跡を中心に―」
柏田有香氏・松永修平氏（京都市埋蔵文化財研究所）
・「淀・山崎をめぐる古代の交通網とその変遷」古閑正浩氏（大山崎町教育委員会）
・「中世淀をめぐる交通と流通」大村拓生氏（関西大学非常勤講師）
・討論

古代・中世の淀と都市形成

大阪歴史学会では、実際に文化財を訪ね、その最新の研究成果にふれるため、市民参加型の催し「現地見学検討会」を毎年開催しています。
今回は、淀とその周辺地域を取り上げます。水陸交通の要衝であるこの地域は、これまでも古代都城との関わり、中世都市の盛衰との関連などが議論されてきました。今回、あらためて現地を巡検し、その地理環境が果たした歴史上の役割を考えたいと思います。

開催日　2023年4月23日（日）

・少雨決行
・定員 50 名（先着順、事前申込不要）
・問い合わせ：大阪歴史学会　http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp/